

科目名 Subject	フェイシャルエステ I Facial Esthetics I		教員名	エステチーム	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2単位
必修/選択	必修	授業形態	実習	時間	60時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	◎	◎	○
科目の概要	フェイシャルトリートメントの中のクレンジングとフェイシャルマッサージで基本となる6種類の手技（軽擦法・強擦法・揉擦法・打法・振動法・圧迫法）の目的と効果を学ぶ。				
授業の目標	本科目を履修することにより、日本エステティック協会とエステティック業協会の認定エステティシャン資格実技試験の1つであるフェイシャルマッサージ手技の目的と効果を理解し、口頭試験に答えられる。肌の状態や年齢（若者から高齢者）によってどの手技が適しているか理解し実践することができる。				
時間外学習 (予習・復習)	授業で学んだことを復習し、次の授業の内容を確認し、教科書等で予習すること。授業では教科書等の内容が理解されていることを前提として、実技の説明や授業を行います。				
教科書・教材	教科書	新エステティック学（日本エステティック協会テキスト）			
	教材	フェイシャル実技教材			
	使用設備・備品	フェイシャル室			
	参考文献				
評価方法	実技試験、筆記試験、授業を通しての学習意欲平常点20%（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む）試験80%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	本授業はエステティックの資格を取得する為に必要な科目であることから授業時間数の90%を下回る出席率の場合はエステティック資格取得の為の受験が出来ない場合があるので注意すること。また、授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は、欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。				
本科目履修と関連する資格	資格名	日本エステティック協会 認定エステティシャン 日本エステティック業協会(AEA) 認定エステティシャン 日本エステティック業協会(AEA) 上級エステティシャン			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	ポイントメイククレンジング① (手順の理解)	目元、口もとのメイクを落とす手順と目的について述べるができる。	ポイントメイククレンジングをスムーズにできるように手順を確認しておく
第2回	ポイントメイククレンジング② (手順の実践)	目元、口もとのメイクを落とす手順と目的を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：ポイントメイククレンジングをスムーズにできるように手順を確認しておく
第3回	ポイントメイククレンジングとスキニアップ① (手順の理解)	メイクを落とすことと化粧水を塗布する手順と目的を述べるができる。	前回の復習と予習：クレンジングとスキニアップの目的と手順を確認を行う
第4回	ポイントメイククレンジングとスキニアップ② (手順の実践)	メイクを落とすことと化粧水を塗布する手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：クレンジングとスキニアップの目的と手順を確認を行う
第5回	ポイントメイククレンジングとスキニアップ③ (実践と応用)	メイクを落とすことと化粧水を塗布する手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：クレンジングとスキニアップの目的と手順を理解し、実技練習を行う
第6回	ポイントメイククレンジングとスキニアップ④ (理解と応用)	メイクを落とすことと化粧水を塗布する手順と目的を述べるができる。	前回の復習と予習：クレンジングとスキニアップの目的と手順を理解し、実技練習を行う
第7回	フェイシャルマッサージ (軽擦法) ① (手順の理解)	軽擦法の目的・効果・手順を理解し述べるができる述べるができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ軽擦法の効果と手順を確認を行う
第8回	フェイシャルマッサージ (軽擦法) ② (手順の実践)	軽擦法の目的・効果・手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ軽擦法の効果と手順を理解し、実技練習を行う
第9回	フェイシャルマッサージ (強擦法) ① (手順の理解)	強擦法の目的・効果・手順を述べるができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ強擦法の効果と手順を確認を行う
第10回	フェイシャルマッサージ (強擦法) ② (手順の実践)	強擦法の目的・効果・手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ強擦法の効果と手順を理解し、実技練習を行う
第11回	フェイシャルマッサージ (揉擦法) ① (手順の理解)	揉擦法の目的・効果・手順を述べるができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ揉擦法の効果と手順を確認を行う
第12回	フェイシャルマッサージ (揉擦法) ② (手順の実践)	揉擦法の目的・効果・手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ揉擦法の効果と手順を理解し、実技練習を行う
第13回	フェイシャルマッサージ (打法) ① (手順の理解)	打法の目的・効果・手順を理解し述べるができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ打法の効果と手順を確認を行う
第14回	フェイシャルマッサージ (打法) ② (手順の実践)	打法の目的・効果・手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ打法の効果と手順を理解し、実技練習を行う
第15回	フェイシャルマッサージ (振動法) ① (手順の理解)	振動法の目的・効果・手順を理解し述べるができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ振動法の効果と手順を確認を行う

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	フェイシャルマッサージ（振動法）②（手順の実践）	振動法の目的・効果・手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ振動法の効果と手順を確認、実技練習を行う
第17回	フェイシャルマッサージ（圧迫法）①（手順の理解）	圧迫法の目的・効果・手順を理解し述べるができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ圧迫法の効果と手順を確認を行う
第18回	フェイシャルマッサージ（圧迫法）②（手順の実践）	圧迫法の目的・効果・手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：フェイシャルマッサージ圧迫法の効果と手順を理解し、実技練習を行う
第19回	フェイシャルパック（肌別対応）①（目的・効果・手順の理解）	パック塗布の目的・効果・手順を理解し述べるができる。	前回の復習と予習：パック塗布の目的・効果・手順の確認を行う
第20回	フェイシャルパック（肌別対応）②（手順の実践と種類選択）	パック塗布の目的・効果・手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：パック塗布の目的・効果・手順を理解し、実技練習を行う
第21回	拭き取り（スポンジ）①（手順の理解）	パック拭き取りの目的・効果・手順を理解し述べるができる。	前回の復習と予習：パックふき取りの目的・効果・手順の確認を行う
第22回	拭き取り（スポンジ）②（手順の実践）	パック拭き取りの目的・効果・手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：パックふき取りの目的・効果・手順を理解し、実技練習を行う
第23回	フェイシャルマッサージ（復習）①（マッサージ手技の手順確認）	マッサージ（基本6手技全て）とパックと仕上げまでの効果・手順を理解し述べるができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順の確認を行う
第24回	フェイシャルマッサージ（復習）②（マッサージ手技の効果確認）	マッサージ（基本6手技全て）とパックと仕上げまでの効果・手順を体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順の確認を行う
第25回	フェイシャルマッサージ（復習）③（マッサージ手技の目的確認）	マッサージ（基本6手技全て）とパックと仕上げまでの目的・効果・手順を理解し述べるができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順の確認と実技練習を行う
第26回	フェイシャルマッサージ（復習）④（パック塗布手順の確認）	マッサージ（基本6手技全て）とパックと仕上げまでの目的・効果・手順を体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順の確認と実技練習を行う
第27回	フェイシャルマッサージ（復習）⑤（パックの効果確認）	マッサージ（基本6手技全て）とパックと仕上げまでの目的・効果・手順を理解し行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順の確認と実技練習を行う
第28回	フェイシャルマッサージ（復習）⑥（パックの手順確認）	マッサージ（基本6手技全て）とパックと仕上げまでの目的・効果・手順を理解し述べるができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順の確認と実技練習を行う
第29回	フェイシャルマッサージチェック①（手順確認）	マッサージ（目的・効果・手順）年齢別、肌別による手技の選択を正しく理解し述べるができる。	前回までの復習と予習：カウンセリング・フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順の確認と実技練習を行う
第30回	フェイシャルマッサージチェック②（効果確認）	マッサージ（目的・効果・手順）年齢別、肌別による手技の選択を正しく選択することができる。	前回までの復習と予習：カウンセリング・フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順の確認と実技練習を行う